たのしい *体育・スポーツ*

2013 年 5 月号 通巻第 271 号

CONTENTS

今月の授業:体つくり運動 久保 健

[†] 「体つくり運動」って何?
【論考】
「体つくり運動」と体育同志会の実践 久保 健8
【実践のひろば】
「からだつくり」運動はスポーツ教材学習のなかで 舩冨公二
動物の口コモーション 一小学校1年生のからだづくり一 石井崇史
「体気づき」から「ダンス」へのつながり 一「歩く」 一 井上良江 22
【特別寄稿】
「体つくり運動」とコオーディネーション 荒木秀夫 26
【論考】
「からだ=身体」はわたし自身のものだから―「体操」考 成瀬 徹 30
連載
時代を拓く実践をたどる: 出原泰明による短距離走 (田植えライン) の実践 石田智巳 ··················· 34
障害児教育のの現場より:
子どもたちが手応えと操作の楽しさを味わえる演技を! ――輪車を使って― 備瀬雄太 38
私と子どもたち: 今頃のいじめって…謎だ 浜田省造 40
私たちの授業研究:「みんなありがとう! 先生できたよ!」 五代孝輔 ······ 42
図書紹介:松井 敦/木村典雄/木村敦子 … 45
情報ノート: 水谷 淳
読者の声:眞田壽子/竹中 学
東西南北: 石井崇史 ······· 48
編集後記・次号予告



運動文化を大切に!

北 智津子

現行学習指導要領(2008年)を読んでいると「『体つくり運動』を小1から高3までの12年間全ての学年で取り上げる」という文が目に飛び込んできました。1998年の学習指導要領では「高学年は『体つくり運動』だったけど、低・中学年は『基本の運動』だったけど、低・中学年は『基本の運動』だった」と思い出しました。今まで学習指導要領をあまり意識して見ることがなかったのですが、「『体つくり運動』って何?」という疑問がわいてきました。

いろいろ調べました。1977年の学習指導 要領改訂から「楽しい体育」の考え方が入っ て来ました。久保氏の論考でくわしく述べら れているように、1998年に「体操」の内容 が「体力を高める運動」と名を変えて、「体 ほぐしの運動」と並置され、その両者を合わ せ持った領域名が「体操」から「体つくり運 動」に改称されることになりました。そして、 「運動習慣の二極化傾向」「体力の低下傾向が 依然深刻」「生涯にわたって運動に親しむ資 質や能力の育成」等の課題を挙げ、2008年 の学習指導要領が出来上がりました。低中学 年の「体つくり運動」は、「体力の向上を直 接のねらいとしてはいけない。まず、レパー トリー(量的拡大)を広げることが大切」と、「体つくり運動」を「体ほぐしの運動」と「多様な動きを作る運動遊び」と二つに分けました。が、高学年以降の「体つくり運動」は、「体ほぐしの運動」と「体力を高める運動」に分けられているのは変わっていません。

また、疑問がわいてきました。たとえば、「『体つくり』 = 『体力つくり』という考えに陥ってしまうのではないか」「『体ほぐし運動』と『多様な動きを作る運動遊び』とのちがいは何か」等いろいろ出てきました。

でも、この特集でこれらの疑問の糸口を少しつかむことができました。体育同志会は、運動文化を大切にし、体を科学的に認識しようと考えてきました。「からだつくり運動」については「スポーツ教材」の中でという考え方をとってきました。が、いまだ研究途上にあります。そこで、今までの考え方や実践について述べる場にするために、この特集をつくることになりました。これを機会に、文化としての「体」を意識していく実践が増えていくことを期待したいです。

(きた ちづこ/大阪支部)